

診療援助技術論

ナンバリング:N1-S1-C06

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 小林 由美子 講師		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座、看護専門基礎講座		
対象学年	1	区分/単位数	講義・演習/2単位
期間	後期		

・学修方針(講義概要等)

診断・治療の場面において、安全・安楽に医療・看護が受けられるための基本的な看護技術について、講義と演習を通して学ぶ。

・教育成果(アウトカム)

診療に伴う技術としての、呼吸・循環を整える技術、創傷管理技術、与薬の技術、症状・生体機能管理技術、安全管理の技術を修得することができる。看護技術の原理・原則と診療の目的を考えながら、安全・安楽な方法を考え、実施できるようになる。また、基礎看護技術を学修する最後の科目であり、診療を受けながら生活している患者に必要な看護技術を考え、生活援助技術論Ⅰ・Ⅱで学んだ知識技術も含め、統合した看護技術の実践ができるようになる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。

・到達目標(SBO)

1. 診断・治療の場面における看護技術の意義・方法・留意点を述べることができる。
2. 感染予防技術、呼吸・循環を整える技術、与薬の技術、症状・生体機能管理技術、安全管理の技術の技術を実践できる。
3. 診療や侵襲を伴う援助を受けている患者の身体面や心理面を考慮した、根拠に基づいた安全な援助を実施することができる。
4. 演習で経験する看護技術の修得に向けて主体的に行動することができる。

・授業日程

【講義】 会場：西1-A講義室、マルチ4A講義室、マルチ2-A実習室、マルチ2-B実習室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
11/19 水 2限	【授業内容】呼吸・循環を整える技術 (呼吸に関する基礎的知識、効果的な呼吸方法、痰を喀出させる方法、吸入療法、吸引) ・呼吸に関する基礎知識を説明できる ・効果的な呼吸方法を説明できる ・気道分泌物の排出の援助方法と留意点を説明できる 【関連するSBO】1、2、3 【事前学修:30分】 ・「フィジカルアセスメント 呼吸器系」の講義資料を読む ・教科書 看護がみえるvol.2臨床看護技術p174～185「吸引」について読む 【事後学修:30分】講義資料を復習する	共通基盤看護学講座 松田 悠史 助教
11/20 木 1限	【授業内容】呼吸・循環を整える技術 安楽確保の技術(電法) (酸素療法)・酸素吸入療法の意義、援助の方法と留意点を説明できる (電法)・電法の意義、適用と効果、留意点について説明できる 【関連するSBO】1、2、3 【事前学修:30分】 ・教科書 看護がみえるvol.2臨床看護技術p202～219、p225～229「酸素療法」について読む ・教科書 看護がみえるvol.1基礎看護技術p350～371「電法」について読む 【事後学修:30分】講義資料を復習する	共通基盤看護学講座 松田 悠史 助教

11/21 金 1限	【授業内容】創傷管理技術 ・創傷の種類および治療過程を説明できる ・褥瘡発生のしくみや好発部位、褥瘡の予防方法を説明できる ・包帯法の目的、種類と特徴を説明できる 【関連するSB0】1、2、3 【事前学修:30分】教科書 看護がみえるvol.1基礎看護技術p372～422「創傷管理」について読む 【事後学修:30分】講義資料を復習する	共通基盤看護学講座 柏木 ゆきえ 准教授
11/25 火 4限	【授業内容】与薬の技術(与薬) ・薬物療法の意義と目的を説明できる ・各種与薬の方法と留意点を説明できる 【関連するSB0】1、2、3 【事前学修:30分】教科書 看護がみえるvol.1基礎看護技術p304～349「与薬」について読む 【事後学修:30分】講義資料を復習する	共通基盤看護学講座 小林 由美子 講師
11/26 水 1限	【授業内容】与薬の技術(注射) ・各種注射の方法と留意点を説明できる 【関連するSB0】1、2、3 【事前学修:30分】教科書 看護がみえるvol.2臨床看護技術p30～63「注射」について読む 【事後学修:30分】講義資料を復習する	共通基盤看護学講座 小林 由美子 講師
11/27 木 2限	【授業内容】与薬の技術(静脈内注射、点滴静脈内注射) ・各種点滴静脈内注射の方法と留意点を説明できる 【関連するSB0】1、2、3 【事前学修:30分】教科書 看護がみえるvol.2臨床看護技術p75～91「点滴静脈注射」、p92～95「ヘパリンロック・生食ロック」について読む 【事後学修:30分】講義資料を復習する	共通基盤看護学講座 小林 由美子 講師
12/1 月 3限	【授業内容】与薬の技術(輸血の管理)、症状・生体機能管理技術(血液検査) ・輸血療法の目的と種類、方法と留意点について説明できる ・血液検査の目的と種類を述べることができる ・静脈血採血の方法と留意点について説明できる 【関連するSB0】1、2、3 【事前学修:30分】教科書 看護がみえるvol.2臨床看護技術 p138～153「輸血」、p2～19「採血」について読む 【事後学修:30分】講義資料を復習する	共通基盤看護学講座 松田 悠史 助教
12/1 月 4限	【授業内容】症状・生体機能管理技術、経管栄養の援助 ・各種検査の目的と看護師の役割について述べることができる ・経管栄養の援助の適応、援助の方法と留意点を説明できる 【関連するSB0】1、2、3 【事前学修:30分】教科書 看護がみえるvol.2臨床看護技術p230～255「栄養管理」について読む 【事後学修:30分】講義資料を復習する	共通基盤看護学講座 松田 悠史 助教
12/2 火 4限	【授業内容】感染予防技術 ・洗浄・消毒・滅菌について説明できる ・無菌操作の注意点について説明できる 【関連するSB0】1、2、3 【事前学修:30分】教科書 看護がみえるvol.1基礎看護技術p37～42「洗浄・消毒・滅菌」、p43～55「無菌操作」について読む 【事後学修:30分】講義資料を復習する	看護専門基礎講座 一ノ渡 学 講師
12/3 水 2限	【授業内容】与薬の技術(基礎看護技術に必要な計算) ・臨床現場で求められる薬物の希釈と投与量の計算を正しく行うことができる ・酸素ポンベの残量と点滴の滴下数を求める計算を正しく行うことができる 【関連するSB0】1、2、3 【事前学修:30分】教科書 看護がみえるvol.2臨床看護技術p85「滴下数計算の実際」、p227「酸素ポンベ使用可能時間の計算方法」について読む 【事後学修:30分】講義資料を復習する	看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授

12/5 金 3限	【授業内容】安全管理の技術(放射線を用いた画像診断) ・放射線や放射性物質を利用した診断の概要を説明できる ・放射線診断に伴う被ばく健康への影響を説明できる 【関連するSB0】 1、2、3 【事前学修:30分】 担当教員が事前に指示した資料を読む 【事後学修:30分】 講義資料を復習する	看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授
12/10 水 1限	【授業内容】排泄援助技術(導尿、浣腸・排便) ・導尿の目的、方法と留意点を説明できる ・浣腸・排便の目的、方法と留意点を説明できる 【関連するSB0】 1、2、3 【事前学修:30分】 教科書 看護がみえるvol.2臨床看護技術p266～311「排泄ケア(侵襲を伴う技術)」について読む 【事後学修:30分】 講義資料を復習する	共通基盤看護学講座 柏木 ゆきえ 准教授
12/15 月 2限	【授業内容】エンゼルケア ・エンゼルケアの目的、方法と留意点を述べるができる 【関連するSB0】 1、2、3 【事前学修:30分】 担当教員が事前に指示した資料を読む 【事後学修:30分】 講義資料を復習する	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授

【演習】

11/21 金 3限	【授業内容】呼吸・循環を整える技術(鼻腔内吸引) ・鼻腔からの一時的吸引を根拠に基づいて実施できる 【関連するSB0】 1、2、3、4 【事前学修:30分】 ・事前に配布したチェックリストを確認する ・講義で説明したWeb Classの動画を視聴する 【事後学修:30分】 演習終了後、チェックリストや動画教材を用いて自己の実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
11/21 金 4限	【授業内容】呼吸・循環を整える技術(酸素療法) ・酸素療法を根拠に基づいて実施できる 【関連するSB0】 1、2、3、4 【事前学修:30分】 ・事前に配布したチェックリストを確認する ・講義で説明したWeb Classの動画を視聴する 【事後学修:30分】 演習終了後、チェックリストや動画教材を用いて自己の実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
11/28 金 3限	【授業内容】与薬の技術(皮下注射) ・皮下注射を根拠に基づいて実施できる 【関連するSB0】 1、2、3、4 【事前学修:30分】 ・事前課題用紙に皮下注射の根拠・留意点を記載する ・WebClassに掲載した「薬液の吸い上げ」「皮下注射」の動画を視聴する 【事後学修:30分】 演習終了後、チェックリストや動画教材を用いて自己の実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
11/28 金 4限	【授業内容】与薬の技術(筋肉内注射) ・筋肉内注射を根拠に基づいて実施できる 【関連するSB0】 1、2、3、4 【事前学修:30分】 ・事前課題用紙に筋肉内注射の根拠・留意点を記載する ・WebClassに掲載した「筋肉内注射」の動画を視聴する 【事後学修:30分】 演習終了後、チェックリストや動画教材を用いて自己の実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
12/4 木 3限	【授業内容】感染予防技術(滅菌手袋)(ガウンの着脱)(滅菌物の取り扱い) ・鑑子の使い方、消毒綿球の扱い方、滅菌手袋の装着方法を説明できる ・滅菌手袋、ガウンの着脱、滅菌物の取り扱いができる 【関連するSB0】 1、2、3、4 【事前学修:45分】 ・事前に配布したチェックリストを確認する ・WebClassに掲載した「滅菌手袋の着け方・外し方」「ガウンの着脱方法」の動画を視聴する 【事後学修:30分】 演習終了後、チェックリストや動画教材を用いて自己の実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教

12/5 金 1限	【授業内容】与薬の技術(点滴静脈内注射) ・点滴の準備、点滴の接続を根拠に基づいて実施できる 【関連するSBO】1、2、3、4 【事前学修:30分】 ・事前課題用紙に点滴の準備・点滴の接続に関する根拠・留意点を記載する ・WebClassに掲載した「点滴の接続」の動画を視聴する 【事後学修:30分】演習終了後、チェックリストや動画教材を用いて自己の実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
12/5 金 2限	【授業内容】与薬の技術(ヘパリンロック) ・ヘパリンロックが根拠に基づいて実施できる 【関連するSBO】1、2、3、4 【事前学修:30分】 ・事前課題用紙にヘパリンロック点滴の準備・点滴の接続に関する根拠・留意点を記載する ・WebClassに掲載した「ヘパリンロック」の動画を視聴する 【事後学修:30分】演習終了後、チェックリストや動画教材を用いて自己の実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
12/11 木 3限	【授業内容】症状・生体機能管理技術(静脈血採血) ・静脈血採血を根拠に基づいて実施できる 【関連するSBO】1、2、3、4 【事前学修:30分】 ・事前に配布したチェックリストを確認する ・WebClassに掲載した「シリンジ採血」「真空管採血」の動画を視聴する 【事後学修:30分】演習終了後、チェックリストや動画教材を用いて自己の実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
12/11 木 4限	【授業内容】症状・生体機能管理技術(静脈血採血) ・静脈血採血を根拠に基づいて実施できる 【関連するSBO】1、2、3、4 【事前学修:30分】 ・事前に配布したチェックリストを確認する ・WebClassに掲載した「シリンジ採血」「真空管採血」の動画を視聴する 【事後学修:30分】演習終了後、チェックリストや動画教材を用いて自己の実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
12/12 金 2限	【授業内容】排泄援助技術(一時的導尿) ・一時的導尿を根拠に基づいて実施できる 【関連するSBO】1、2、3、4 【事前学修:30分】 ・演習終了後、チェックリストや動画教材を用いて自己の実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する ・事前に配布したチェックリストを確認する ・WebClassに掲載した「一時的導尿」の動画を視聴する 【事後学修:30分】演習終了後、チェックリストや動画教材を用いて自己の実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
12/12 金 3限	【授業内容】排泄援助技術(一時的導尿) ・一時的導尿を根拠に基づいて実施できる 【関連するSBO】1、2、3、4 【事前学修:30分】 ・演習終了後、チェックリストや動画教材を用いて自己の実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する ・事前に配布したチェックリストを確認する ・WebClassに掲載した「一時的導尿」の動画を視聴する 【事後学修:30分】演習終了後、チェックリストや動画教材を用いて自己の実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
12/17 水 2限	【授業内容】技術試験前の練習 ・患者の状態に合わせた援助、留意点について説明できる 【関連するSBO】1、2、3、4 【事前学修:30分】既習の看護技術を復習する 【事後学修:30分】演習終了後、自己の実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教

12/17 水 3限	【授業内容】技術試験前の練習 ・患者の状態に合わせた援助、留意点について説明できる 【関連するSBO】1、2、3、4 【事前学修:30分】既習の看護技術を復習する 【事後学修:30分】演習終了後、自己の実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
12/17 水 4限	【授業内容】技術試験前の練習 ・患者の状態に合わせた援助、留意点について説明できる 【関連するSBO】1、2、3、4 【事前学修:30分】既習の看護技術を復習する 【事後学修:30分】演習終了後、自己の実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
12/19 金 2限	【授業内容】技術試験 ・提示された事例の対象に必要な看護技術(診療援助技術と生活援助技術を統合した看護技術)を実施することができる 【関連するSBO】1、2、3、4 【事前学修:30分】既習の看護技術を復習する 【事後学修:30分】演習終了後、自己の実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
12/19 金 3限	【授業内容】技術試験 ・提示された事例の対象に必要な看護技術(診療援助技術と生活援助技術を統合した看護技術)を実施することができる 【関連するSBO】1、2、3、4 【事前学修:30分】既習の看護技術を復習する 【事後学修:30分】演習終了後、自己の実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
12/19 金 4限	【授業内容】技術試験 ・提示された事例の対象に必要な看護技術(診療援助技術と生活援助技術を統合した看護技術)を実施することができる 【関連するSBO】1、2、3、4 【事前学修:30分】既習の看護技術を復習する 【事後学修:30分】演習終了後、自己の実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	看護がみえるvol.1基礎看護技術 第2版	医療情報科学研究所	メディックメディア	2024
教	看護がみえるvol.2臨床看護技術 第1版	医療情報科学研究所	メディックメディア	2018
参	根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術第3版	任和子、井川順子	医学書院	2021
参	系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学 第10版	尾尻博也	医学書院	2021
参	看護計算 薬用量計算トレーニング	John Gatford	エルゼビアジャパン	2007

教:教科書

参:参考書

推:推薦図書

・成績評価方法

【総括的評価】 筆記試験70点(多肢選択、穴埋めと記述)と技術試験・演習への取り組み30点の合計100点とする *技術到達度の確認は評価表(ループリック評価)に基づき評価する(配点30点) *演習への取り組みは、以下の内容とする ・演習前の事前課題・事後課題の記載内容の不足は、1回につき1点減点。 ・最終期限までに課題の未提出がある場合、1回につき3点減点。 ・演習では援助者として必要な身だしなみの準備(指定した服装、爪を短く切る、髪をまとめる、上履きあるいはナースシューズの準備、名札を着用する等)が必要となるため、演習時に数回にわたりチェック表を用いて確認する。指導後も4回以上不適切な準備が見られた場合は3点減点。 【形成的評価】 ・各回の講義・演習において「自己評価と振り返り」を行い学修の成果を確認する。 ・講義回数が15回を過ぎた時点で、1～15回の内容の力試し問題を行う。力試し問題取り組み後、WebClassに掲載された解答例を確認し、科目前半の内容の学修の成果を確認する。
--

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

・Googleフォーム、SlidoなどのICTを活用して、授業の感想・意見・質問を確認し、必要時フィードバックをする。

・技術到達度の確認は評価表に基づき評価し、学生にフィードバックする。

・演習後の質問の回答、課題の解説をWebClassに掲載する。

くその他>

・本科目での指定の教科書だけでなく、解剖生理学など広く授業内容に関連した教科書の章を事前に読んで参加すること。

・演習開始前には、関連する教科書の章および配布資料を読む、“eナーストレーナーの動画、教科書に掲載されているアプリを活動した動画、“WebClassにあげた動画”の視聴覚教材を視聴するなど、イメージトレーニングを行って、学修のポイントを理解した上で参加すること。

・演習の概要(演習計画)はWebClassにアップするので、印刷物で必要な場合、各自ダウンロードして印刷すること。

・各演習ではグループ間もしくは学生ペア同士で看護師役と患者役を経験し、アセスメント技術の修得と共に患者の立場から必要な配慮の理解を深める。看護技術の修得は、繰り返し実施することが必要なため、授業終了後も主体的に技術練習を行い、自己学修を重ねて知識と実技の定着に努めること。

・授業時間を有効に使用するために演習時は物品片付けで授業時間外になることがある。演習の準備と片付けに主体的に参加すること。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師(別表3):専門分野 基礎看護学

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院等における看護師の実務経験を有する教員が、基礎看護学領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
演習	CPS実習ユニットⅡ、接続用吸引器・酸素流量計	4	呼吸を楽にする援助技術
演習	吸引シミュレータ“Qちゃん”	4	吸引
演習	万能型看護実習モデル“八重”	12	導尿・注射
演習	採血・静注シミュレータ“シンジョーⅡ”	10	採血
演習	鑷子	24	滅菌物の取り扱い
演習	点滴スタンド	24	点滴静脈内注射
演習	膿盆	24	注射・点滴静脈内注射